



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第82号

2010.11.1

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。
一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」
の名前をつかっています。

もくじ

お知らせ

- ー受付スタッフについて
- ー冬季閉館について

活動報告

- ーキノコの観察会
- ーサツキマス保全の試み

観察会案内

- ーゴギの観察会（大朝）
- ー八幡高原の野鳥観察会
- ー紅葉と冬芽の観察会
- ー千町原の草刈り 秋

お知らせ

●受付スタッフが増えました

西中国山地自然史研究会と芸北トレッキングガイドクラブとの連携により、ガイドクラブのメンバーが、高原の自然館の受付をサポートしていただきます。館内の説明はもちろん、芸北の自然のこと、歴史のこと、方言のことなどバラエティに富んだお話が聞けると思います。ご来館の際は声をかけてくださいね。黄色いベストが目印です。

●冬季閉館について

高原の自然館は11月26日から4月24日まで冬季閉館となります。高原の自然館内の展示も秋・冬バージョンになっています。今年も残りわずかになったシーズンですが、どうぞご来館ください。

観 察 会 報 告

●キノコ観察会

開催日時 : 2010年10月3日(日)9:30

講師 : 川上嘉章

雨が降る中、年に一度のお楽しみ「キノコ観察会」が始まりました。講師は昨年に続き川上先生です。今回の開催場所は聖湖キャンプ場です。キノコの採り方、カエンタケという危険なキノコには触れないことなど、先生のお話を聞いたあと、キノコ採取の開始です。参加者は19名でキャンプ場内を探し回りました。

「キノコってそんなにすぐ見つかるのかな？」と疑問を持っていましたが、そんな心配は無用で、少し歩くとしげみの下にキノコを発見！これは大きいぞ～と嬉しくなりました。カゴを片手に、道路の側、木の下、笹の側、芝生の上と次々に見つかります。雨が降っていても気になりませんでした。子供の参加者も、こぞ探しています。おもしろいキノコや変わったキノコを見つけると、皆で集まり匂いをかいだり、手に取ったりしました。

1時間ほど歩き、キノコを探すという醍醐味をたっぷり満喫しました。さあ、持ち帰ったキノコを並べ、川上先生による鑑定タイムです！キノコを一つづつ手にとり、さっと名前をつけます。食べられるキノコは黒字、食毒不明は青字、食べられない毒を持ったキノコは赤字で名前が入ります。参加者も自分が採ったキノコにどんな名前がつくのか興味津々で見守ります。カボチャの形をしたカボチャタケ、食べられると聞いて意外なホコリタケ、根本が膨らんでいるフウセンタケの仲間、ホンシメジとよく似ているクサウラベニタケという毒キノコなどキノコの名前や特性を大変興味深く聞きました。中でも乳液が辛いといわれ試してみたケシロハツモドキ。これは本当に辛く、舌がびりびりとなりました。こうやって試すことができるのも、専門家による観察会だからこそです。全部の鑑定を終えまとめると、食用13種・食毒不明21種・毒8種と合計42種のキノコを観察したことがわかりました。

最後に白川学芸員から北広島町の生物多様性に関するお話がありました。キノコをはじめ、いつまでも豊かな生態系の恵みを受け取れるような環境を残したいものです。[このやよい]



雨が降る中、観察会開始。



「中身があるよー？こりゃなんだ？」
正体は“ミヤマタマゴタケ”



キノコの種類を熱心にメモ。



このキノコは何だろう？もこもこがいっぱい、見た目の通りの名前！“カボチャタケ”



全部で42種類！



近くで見ると・・・表面がツブツブしている“ホコリタケ”

【みなさんの印象に残った物】

「タマゴタケを取った時楽しかった」「カボチャタケ」「思ったより種類が多かったこと」「森の多様性、辛いキノコの試食」「タケリタケ」「ホコリタケが食べられること、辛いキノコ」「意外と見ためと違う物が食べられたりするところが楽しかった」「こんなにたくさん生えてると思わなくてびっくりしました。」「これほど沢山のキノコがとれると思いませんでした。」「たのしかったです」「色々たくさんきのこがあってびっくりしました」「やはり、キノコを見つけたときの楽しさ」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「多くのキノコがあって驚きました」「とても楽しかったです。」「先生の説明わかりやすく楽しかったです。」「とても親切な説明でした」「雨が少し残念でしたが、とても楽しかったです。きのこの、食べるもの毒のもののみわけが少し分かった様に思います。」「キノコは少ないと思ったけれどたくさん」「食用をたくさん取りたい」「あいにくの雨でしたがとても楽しかったです。」「雨の中子どもも一生懸命集めて楽しそうでした」「自然の中でリフレッシュでき、しかも勉強までできました。」



川上先生がひとつづつ名前をつけつつ、生態を紹介。

観 察 会 報 告

●サツキマス保全の試み

日時 : 2010年10月11日(月・祝) 9:30
講師 : 内藤 順一

毎年続けているサツキマスの産卵行動の観察会は、八幡振興会館での講義から始まりました。内藤先生が資料やプロジェクタを使ってサツキマスについての説明をされました。資料では、アマゴ、サクラマス、ビワマス、ゴギなど、サケ科魚類の分類がどのように整理されてきたのかについて、また広島県での人との関わりなど、丁寧に説明していただきました。その後、たくさんの方の写真やビデオを使って、様々な産卵のパターンや、産卵前後の行動について見せていただきました。撮影の苦労話を交えての説明は、臨場感があって興味深いものでした。

しっかりと知識を詰め込んだら、いよいよ現地に出発です。今年は観察をするだけでなく、堰に遮られて遡上できないサツキマスを捕獲し、堰より上流に上っていく手助けをする計画です。現地では内藤先生がウェットスーツを、補助の田村さんがウェーダーを着込み、川に入って網を設置していきます。陽射しがあるとはいえ、10月の柴木川は寒そうです。しかし、手伝うことはできないので、ここは見守るばかりです。網を下ろしてほどなく、サツキマスがかかり始めました。20匹以上は見えていたので、メスも4匹くらいは居るはず。サツキマスの性比は、オス:メス=8:2だそうです。最終的には24匹を捕獲し、そのうち3匹がメスでした。捕獲した全てのサツキマスについて全長・体重・性別を記録した後、コンテナで堰より上流に運び、すぐに放流しました。放流したサツキマスはすぐに散らばって行きました。後日、見回りをされた内藤先生によると、数箇所産卵した形跡があったということです。今回の作業をしたことで、サツキマスの産卵場所が分散され、先に産み落とされた卵が、後から来たメスによって掘り起こされる事態が避けられました。ただ、見学者からは「刺し網にかかった小さな魚もなんとか殺さないようにできないものか?」との声もあり、捕獲方法の検討もしていきたいと思います。本当は、堰に魚道が付けられたら良いんでしょうね。

今回は遠くから眺めるだけでなく、重さや長

さも計測したので、しっかりと近くで観察できました。サツキマスの運搬にあたっては、八幡の河野文夫さんに軽トラックを貸して頂きました。ありがとうございました。[しらかわかつのぶ]

※サツキマスの捕獲は広島県の許可をとって実施しました。



スライドを使って解説する内藤先生。



現地に移動し、堰の下、サツキマスが溜まっているところで網を張る。



一匹ずつ、丁寧に網から外していく。



運ばれるサツキマス。



重さを計測する。



堰の上流でゆっくりと放流した。



サツキマスはコンテナ2杯に入れて運んだ。

【みなさんの印象に残った物】

「改めてサクラマスとサツキマスの違いが理解できたこと。」「熱心な先生が好印象でした。」
「大きなサツキマス」「サツキマスのオスがとてもきれいなこと」「サツキマスの捕獲」「数の多さとオスが美しかった。」

【参加したみなさんの感想(抜粋)】

「野外での活動に大変感銘を受けました。」「楽しく勉強になりました。(2)」
「捕獲から計測、放流の作業を興味深く見た。」
「名前は知っていても実物を見ることがなかったので、見ることができて良かった。」
「実際の保護活動が見れてよかった。」
「放流した河川でまた観察したい」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

● ゴギの観察会 (大朝)

開催日時:2010年11月7日(日)9:30
集合場所:大朝公民館(大朝支所内)
講師:内藤順一
準備:基本セット・双眼鏡
定員数:30名
参加費:一般=300円/賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

大朝公民館でスライドを見ながらゴギについて事前勉強を行います。その後ゴギが生息する川に移動し、ゴギや産卵場所をじっくり観察しましょう。大朝地区では初めての観察会となります。歩きやすい服装でお越しください。

● 八幡高原の野鳥観察会

開催日時:2010年11月14日(日)8:00
集合場所:高原の自然館
講師:上野吉雄
準備:基本セット・双眼鏡
定員数:30名
参加費:一般=300円/賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

昨年より1ヶ月早い野鳥観察会です。冬支度を始めた八幡高原にはどんな鳥がいるのでしょうか?鳥の姿を見て、名前を知るだけでなく、どんな環境で暮らしているのかをじっくり観察しましょう。午後からは紅葉と冬芽の観察会があります。

● 紅葉と冬芽の観察会

開催日時:2010年11月14日(日)13:00
集合場所:高原の自然館
講師:斎藤隆登
準備:基本セット・ルーペ
定員数:30名
参加費:一般=300円/賛助会員=100円
正会員・中学生以下=無料

午前中の野鳥観察会に引き続き、紅葉と冬芽の観察会を行います。樹を見分けることは、花がない時期には難しいですが、先生から冬芽や樹の特長をじっくり教えてもらいましょう。冷え込みますので、寒さ対策をしっかりとってきてください。

● 千町原草刈り 秋

開催日時:2010年11月23日(火・祝)8:00
集合場所:山麓庵
参加費:500円(仕上げ代:別途1500円)
申込み方法:①氏名 ②草刈機・チェーンソー持参の有無③仕上げ参加の有無を添えて、申し込んでください。初めて参加頂く場合は④住所⑤電話番号⑥生年月日も必要です。お持ちの方は携帯電話の電話番号とメールアドレスも明記ください。
申込み先:高原の自然館

千町原の環境保全活動を手伝っていただけるボランティアを募集しています。作業内容は防火帯づくりで、樹木の伐採、草刈りと刈った草木の整理です。今回もキッズプログラムを用意しています。天候によっては寒いことがありますので、防寒をしっかりとってきて下さい。

今年の初雪は10月27日と去年に比べて早く、11月を迎えると同時に冬もやってきました。とはいえ、八幡をぐるりと見渡すと赤や黄色で彩られた木々は美しく、ススキの穂が揺れる草原を見ると四季を感じ、幸せで満たされます。八幡が雪で覆われるまでのわずかな期間、写真を撮ったり、草原を歩いたりして楽しむつもりです。(この)

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしています)

高原の自然館(こうげんのしぜんかん)

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原119-1
tel. & fax : 0826-36-2008
<http://shizenkan.info/>
staff@shizenkan.info